

じつは、ものづくりのまちなんです

ふじみ野市

ふじみ野市は、人口が11.3万人を超える生活のまちであり、昔ながらの飲み屋も多く残る飲食店のまちのイメージが強い。しかしながら、じつは、戦前戦後から電波・通信分野を筆頭に製造業が発展し、最先端かつ特色ある企業が集まっている「ものづくりのまち」なのである。市内企業の取り組みについては、各頁をご覧ください。

電波・通信のまち ふじみ野市

ふじみ野市は、かつて、陸軍弾薬工場の造兵廠（通称：火工廠・かこうしょう）があり、戦後は、電波国際電気通信福岡受信所（国際電信の受信所、現在地にはKDDI総合研究所が立地）が大規模な電波の受信施設を構築するなど、「強固な地盤による自然災害に対する安全性」と「東京都心に近い利便性」などから、電波の受信拠点のほか、電波受信機器や通信機器システムにおいて日本でもトップクラスの研究開発拠点、製造拠点が集積し、地域の発展へとつながっている。

今もふじみ野市において蓄積された技術・ノウハウを基に国内外に事業展開している。まさに、電波・通信のまちなのである。



かつて電波塔の並んでいたふじみ野市の風景（資料：上福岡歴史民俗資料館）

研究開発と創造のまち ふじみ野市

東武東上線で池袋から26分と「東京都心からのアクセス良好」なふじみ野市であるが、その利便性は距離や時間だけでなく、1960年代以降の高度経済成長期においては、「駅近郊に広い産業用地」を確保できること、「優れた人材」を採用できることもあり、東京都内から多くの優れた企業が進出してくるようになった。

製造拠点だけに限らず、「研究開発を兼ねた総合的な拠点」として事業を行う企業も多い。

また、中小・中堅企業においても製造拠点の機能を有しつつ、「企画・設計やコンサルティングサービス」を併せて行い、「お客様の要望にとことん対応した高付加価値」「短納期」をウリにする企業が数多く立地している。創造性が高く、オンリーワンの企業が集まっているのである。

最先端のベンチャー企業のまち ふじみ野市

日本に留まらず世界最先端の事業を展開するベンチャー企業がふじみ野市には多く活動している。大手企業や研究機関から生まれたベンチャー企業、独自の技術力を磨いている企業など様々であるが、ベンチャー企業に限らず、「東京近郊の距離感」、「人材交流のしやすい鉄道・道路の交通ネットワーク」、「優れた社会インフラと快適な生活環境」、「東京に比べて安価な地価・賃貸費」などの利便性が高く評価されており、総合的に住みやすさ、通勤しやすさと事業環境のバランスの良さがふじみ野市の優れたポイントになっている。

これらの優れたポイントをさらに向上することによって、より多くの優れた企業がふじみ野市を目指すことになるだろう。

ものづくりを支える中小企業のまち ふじみ野市

企業間競争の激しい関東エリアにおいて高度技術とノウハウを基盤に、様々な場面で地域・日本のものづくりを支える多数の企業が長期間にわたって事業を営んでいる。

各社ともに特徴ある技術力を有し、大手や中小の様々なお客様に対応した技術や製品を提供している、なくてはならない縁の下の力持ちの企業である。

生活を支える企業のまち ふじみ野市

大消費地東京を背後に、食品や生活消費財の生産・販売を行う多くの企業が存在するなか、ふじみ野市でも特色のある事業を展開している企業が多数活動している。低コスト・大量生産ではなく、高付加価値・少量でありながら、人や企業が本当に求める美味しさや安心にこだわり、心も身体も喜ぶ愛情のこもった商品を提供する企業である。